

# 乗合タクシーによる『二刀流』スタート！！

～ 「ひと・もの」協働輸送プロジェクト 新たなステージ ～

平成29年11月1日、北海道運輸局旭川運輸支局と旭川中央ハイヤー株式会社の共同主催により、乗合タクシーによる貨客混載輸送出発式が開催されました。

出発式には、事業主体である佐川急便株式会社、旭川市、地域住民、旭川地区ハイヤー協会等のご臨席をいただきました。

この取り組みは、旭川中央ハイヤー株式会社が旭川市米飯（ペーパン）地区で運行している乗合タクシーを活用して、予約のない時間帯などに佐川急便株式会社の宅配貨物を運ぶもので、昨年度から北海道運輸局で進めてきた『「ひと・もの」協働輸送プロジェクト』の一環として、事業主体事業者に加え、旭川市と北海道運輸局旭川運輸支局の4者連携で実施する取り組みです。



今回、貨客混載輸送を新たに始める乗合タクシーは、東旭川駅周辺施設と、旭川市米飯（ペーパン）地区（世帯数：約200戸）を運行しています。



旭川中央ハイヤー株式会社と佐川急便株式会社を中心として実施に踏み切ったこの取り組みは、大手物流事業者の持つ全国物流ネットワークの一部となる「ラストワンマイル輸送」を地方の交通事業者が担う全国でも例を見ない「乗合タクシーによる二刀流」として、過疎地域の人流・物流維持のモデルとして、他地域にも広がっていく可能性を秘めています。



北海道運輸局旭川運輸支局として、こういった人流・物流効率化の取り組みを推進し、地域の物流・交通を支える手段にしていきたいと考えています。